

大阪港港湾計画資料（案）

— 軽易な変更 —

令和2年3月

大阪港港湾管理者
大阪市

目 次

1	変更理由	1
2	旅客船埠頭計画	2
3	外郭施設計画	3
3-1	外郭施設計画	3
3-2	静穏度の検討	3
4	土地利用計画	4
5	環境の保全に関する資料	5
6	地方港湾審議会名簿	6

1 変更理由

夢洲地区において、港内の静穏を図りつつ、旅客輸送需要に対応するため、旅客船埠頭及び外郭施設を計画する。

また、夢洲地区の北側において、水際線を含むウォーターフロント空間と一体となった質の高い港湾空間の形成を図るため、土地利用計画を変更する。

2 旅客船埠頭計画

(1) 概要

周囲を海に囲まれている夢洲地区の立地を活かして、国際観光拠点の形成に伴って見込まれる旅客輸送需要に対応するため、旅客船埠頭を計画する。

(2) 夢洲地区旅客船埠頭の規模及び配置

夢洲地区において、小型旅客船用の係留施設を次のとおり計画する。

表 2-1 夢洲地区旅客船埠頭の規模及び配置 (今回計画)

施設名	基数	備考
小型栈橋	2基	新規計画

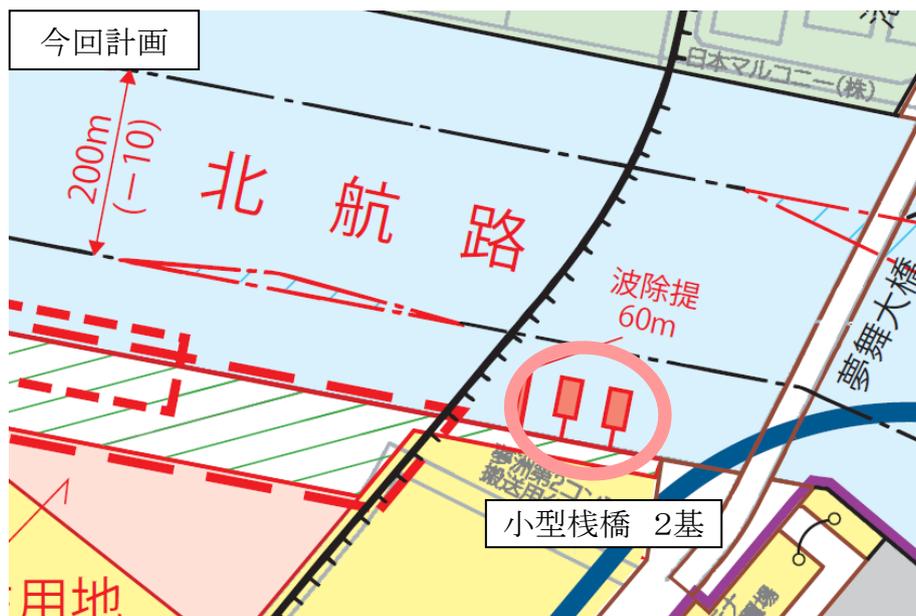


図 2-1 夢洲地区旅客船埠頭計画

3 外郭施設計画

3-1 外郭施設計画

夢洲地区において、今回位置付ける旅客船埠頭の静穏を図るため、外郭施設を次のとおり計画する。

表3-1 夢洲地区外郭施設の規模及び配置（今回計画）

施設名	延長	備考
波除堤	60m	新規計画

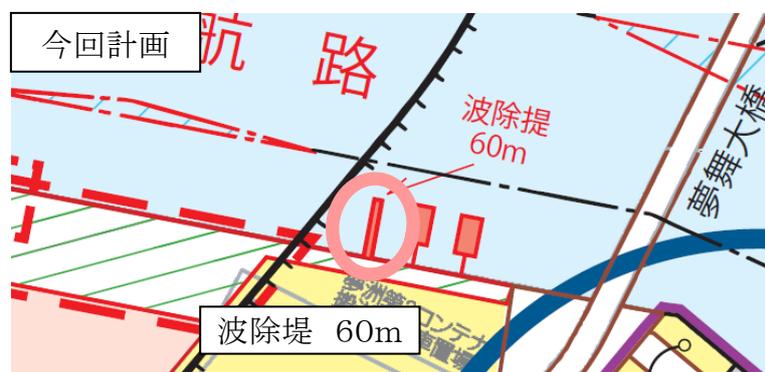


図3-1 夢洲地区外郭施設計画

3-2 静穏度の検討

静穏度は、今回小型栈橋を計画する位置を評価地点として検討した。今回計画する波除堤により、確保すべき荷役稼働率を上回っている。

表3-2 波高・波向出現頻度(2004年～2013年)

波高(m) \ 波向	South	SSW	SW	WSW	West	WNW	NW
0.01~1.01	881	1730	3249	6192	7981	9798	3296
1.02~2.00	53	291	192	164	470	2743	1255
2.01~3.00	6	12	10	4	31	458	126
3.01~4.00	0	7	1	0	5	35	6
4.01~5.00	0	0	0	0	0	1	0

表3-3 静穏度の評価

目標荷役稼働率	97.5%						
荷役限界波高	0.3m (小型船)						
波向	South	SSW	SW	WSW	West	WNW	NW
評価地点での波高比	0	0	0.01	0.01	0.08	0.06	0.08
荷役限界波高超過出現率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
荷役稼働率	100.0%(≥97.5%)						

4 土地利用計画

多様な機能が調和し、水際線を含むウォーターフロント空間と一体となった質の高い港湾空間の形成を図るため、夢洲地区の土地利用計画を次のとおり変更する。

表 4-1 土地利用計画（今回計画）

（単位：ha）

	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	工業用地	都市機能用地	交通機能用地	危険物取扱施設用地	緑地	合計
夢洲地区	(73.9)	(81.3)	(20.5)			(25.9)		(93.6)	(295.2)
	73.9	81.3	20.5		95.7	25.9		93.6	391.1

注1) ()内は港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2) 端数処理のため、内訳の和は必ずしも合計とはならない。

注3) 今回の変更にかかる地区についてのみ記述した。

表 4-2 土地利用計画（既定計画）

（単位：ha）

	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	工業用地	都市機能用地	交通機能用地	危険物取扱施設用地	緑地	合計
夢洲地区	(73.9)	(81.3)	(15.9)			(25.9)		(93.6)	(290.7)
	73.9	81.3	15.9		100.4	25.9		93.6	391.1

注1) ()内は港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2) 端数処理のため、内訳の和は必ずしも合計とはならない。

注3) 今回の変更にかかる地区についてのみ記述した。

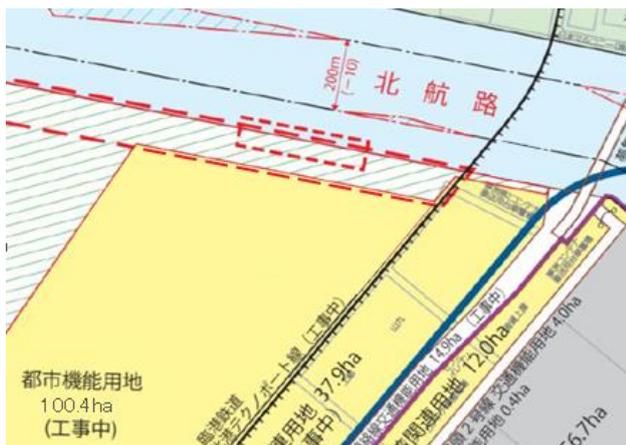


図 4-1 既定計画

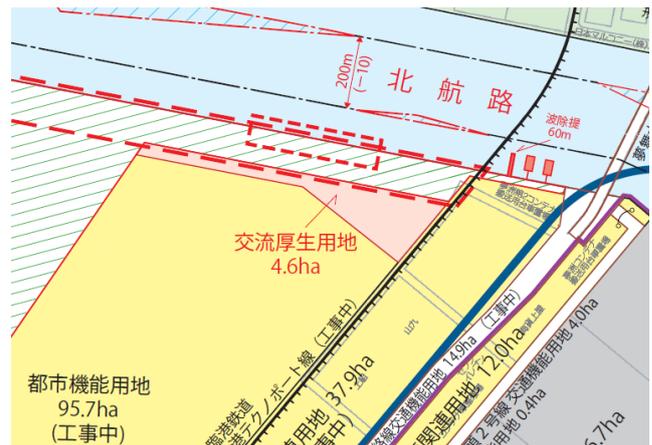


図 4-2 今回計画

5 環境の保全に関する資料

今回計画に伴う環境負荷は軽微であることから、今回計画が周辺環境に与える影響は軽微であると考えられる。

6 地方港湾審議会名簿

(敬称略順不同)

	氏名	補職名
学識経験	赤井 伸郎	大阪大学大学院教授
学識経験	篠原 正人	福知山公立大学教授
学識経験	三宅 正弘	武庫川女子大学准教授
学識経験	田中 みさ子	大阪産業大学教授
学識経験	一井 康二	関西大学教授
学識経験	米山 望	京都大学防災研究所准教授
学識経験	小谷 真理	同志社大学准教授
学識経験	竹林 幹雄	神戸大学大学院教授
学識経験	毛海 千佳子	近畿大学准教授
学識経験	藤本 英子	京都市立芸術大学大学院教授
学識経験	瀬田 広明	鳥羽商船高等専門学校准教授
市会議員	荒木 幹男	大阪市会建設港湾委員長
市会議員	加藤 仁子	大阪市会建設港湾副委員長
市会議員	片山 一步	大阪市会建設港湾副委員長
港湾関係	川本 清	公益社団法人大阪港振興協会会長
港湾関係	宮城 勉	大阪商工会議所専務理事
港湾関係	小野 孝則	大阪倉庫協会会長
港湾関係	袋本 浩	大阪船主会副会長
港湾関係	溝江 輝美	大阪港運協会会長
港湾関係	小嶋 敏弘	大阪港湾労働組合協議会議長
港湾関係	除 補 修	全日本海員組合大阪支部支部長
港湾関係	北村 英一郎	大阪府漁業協同組合連合会理事
港湾関係	小見山 純郎	大阪湾水先区水先人会会長
行政機関	中山 峰孝	財務省大阪税関長
行政機関	井上 智夫	国土交通省近畿地方整備局長
行政機関	八木 一夫	国土交通省近畿運輸局長
行政機関	早川 知樹	大阪海上保安監部長
行政機関	森岡 武一	大阪府都市整備部長